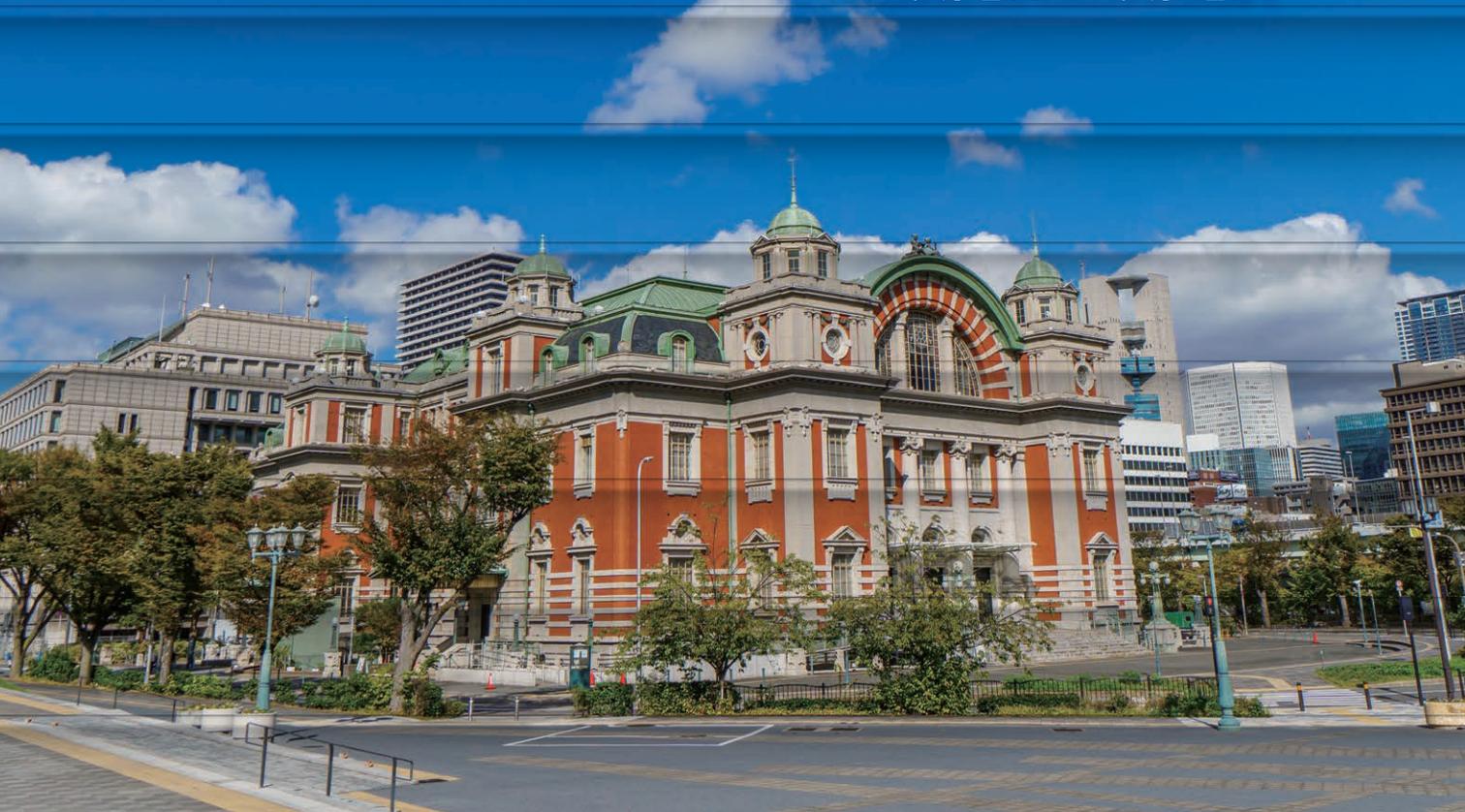


# 株主の皆さまへ

## 第68期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで



東洋シャッター株式会社

証券コード5936

代表取締役社長

岡田 敏夫



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜りありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

ここに当社第68期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業概況をご報告申し上げます。

2022年12月

### Q. 第68期第2四半期の業績についてお聞かせください。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策や各種政策により、社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きがみられましたが、物価の上昇もあいまって、国内景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当シャッター業界を取り巻く状況としましては、民間設

備投資需要に持ち直しの動きは見られましたが、受注競争は依然激しく、鋼材を中心とした原材料価格の上昇も未だ続くなど、引き続き厳しい環境にあります。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画『TOYO REBORN 3』の初年度として、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、販売価格水準の向上に努力するとともに、戦略的な受注活動や、受注済み案件の採算改善などに注力してまいりましたが、原材料価格の高騰分を価格転嫁で全てカバーするまでには至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は前年同四半期比1.9%減の10,211百万円となり、売上高は前年同四半期比3.3%増の9,202百万円、営業利益は20百万円（前年同四半期は175百万円）、経常損失は11百万円（前年同四半期は経常利益162百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は28百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益97百万円）となりました。

### Q. 今期の見通しはいかがでしょうか？

2023年3月期の業績予想につきましては、引き続き先行き不透明な状況ではありますが、全社一丸となって企業品質と基幹事業の収益性向上を追求し、5月12日に公表した業績予想（売上高19,500百万円、営業利益500百万円、経常利益440百万円、親会社株主に帰属する当期純利益300百万円）の達成に努めてまいります。

Q. 株主還元についてお聞かせください。

株主様への還元については、中長期的な企業価値の向上と安定的な経営基盤の確保に努めながら株主の皆様への利益還元とのバランスの最適化を経営の最重要課題のひとつとして位置付けております。今後の飛躍のための設備投資や研究開発費に必要な内部留保を確保しつつ、財務状況やキャッシュ・フロー等を勘案しながら、株主の皆様へ利益還元を行ってまいります。

2023年3月期につきましては安定的な配当を目指し、1株当たり15円の年間配当を予定しております。

第67回定時株主総会について

6月23日(木)、TKPガーデンシティ心斎橋南船場において開催し、全ての議案が可決されました。

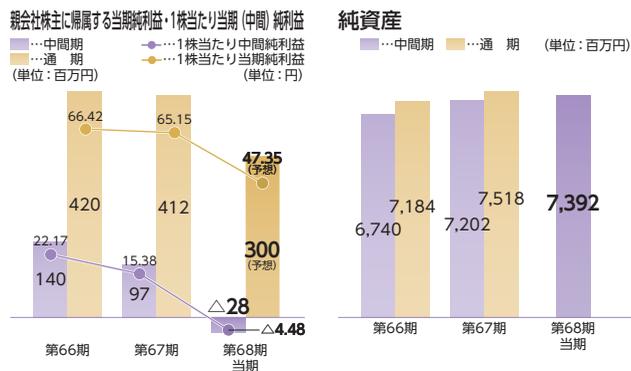
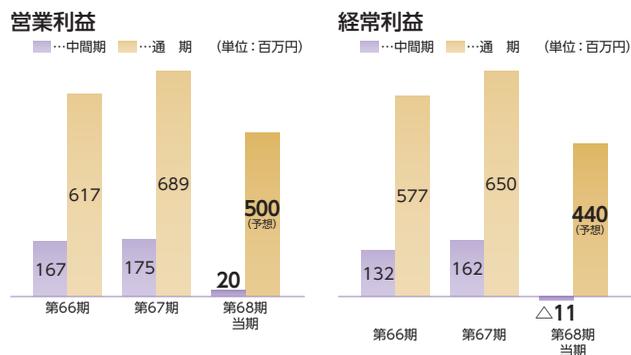
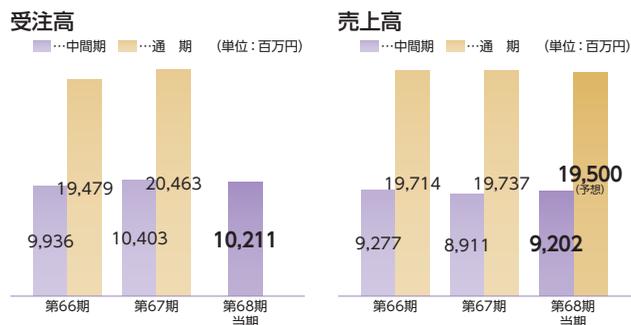
新型コロナウイルス感染症防止のため、株主の皆様にはインターネットによる議決権行使や当日のご来場を控えていただくなど、ご協力を頂きました。

株主総会の事業報告の概要動画をQRコードまたはWebサイトからご覧いただけます。



[https://www.toyo-shutter.co.jp/library/movie/20220623\\_67\\_kabunusisoukai.mp4](https://www.toyo-shutter.co.jp/library/movie/20220623_67_kabunusisoukai.mp4)

当社グループの営業成績及び財産の状況

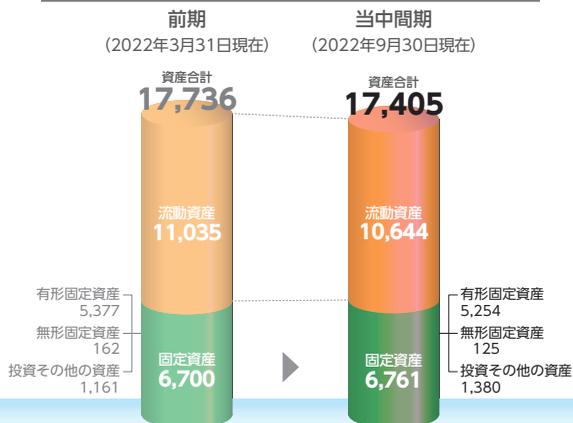


(注) 1. 1株当たり当期(中間)純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益から期中平均株式数(除く自己株式数)で除して算出しております。  
2. 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

## 四半期連結貸借対照表の概要

### 資産の部

(単位: 百万円)



### Point 資産の部 変動要因

総資産は3億31百万円減少し、174億5百万円となりました。流動資産3億91百万円減少し、106億44百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産の減少によるものです。固定資産は60百万円増加し、67億61百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加によるものです。

### 負債・純資産の部

(単位: 百万円)



### Point 負債・純資産の部 変動要因

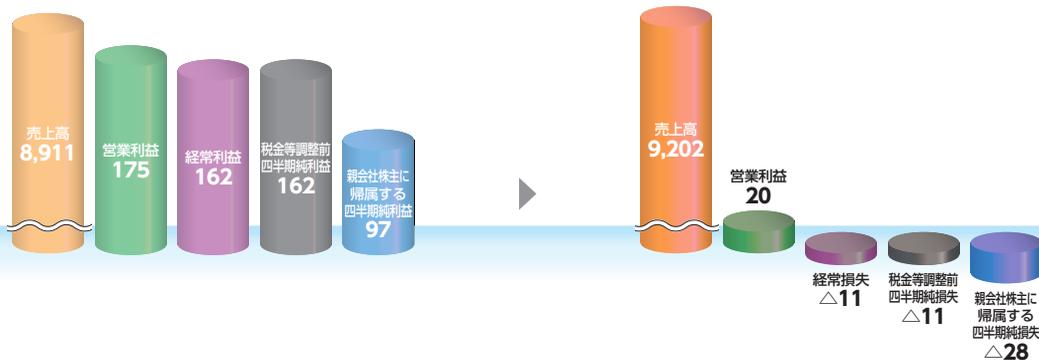
<負債> 流動負債は44百万円減少し、72億25百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は1億60百万円減少し、27億88百万円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。  
<純資産> 純資産は1億26百万円減少し、73億92百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

## 四半期連結損益計算書の概要

前中間期  
(自 2021年4月1日～至 2021年9月30日)

当中間期  
(自 2022年4月1日～至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

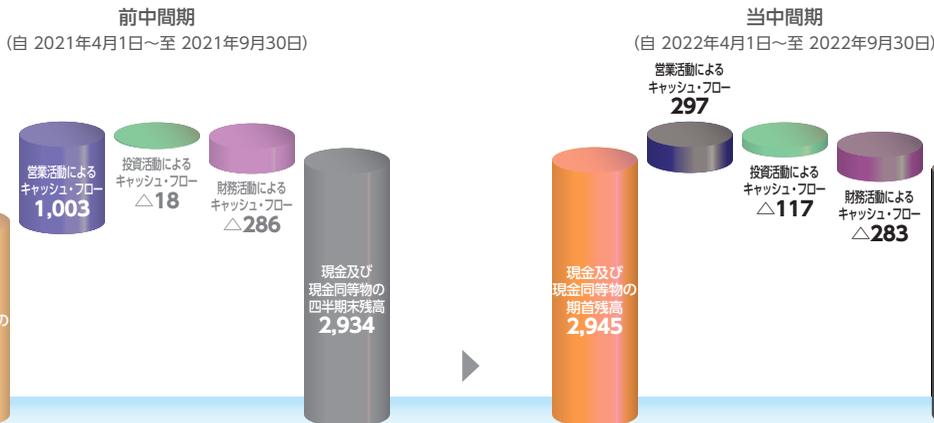


### Point 四半期連結損益計算書 変動要因

売上高は、前年同期比2億91百万円増加し、92億2百万円となりました。営業利益は、原材料価格の高騰分を価格転嫁でカバーするまでには至らず、前年同期比1億55百万円減少し、20百万円となりました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位: 百万円)



### Point 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 変動要因

現金及び現金同等物は92百万円減少し、28億42百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、営業活動の結果得られた資金が2億97百万円、投資活動の結果使用した資金は1億17百万円、財務活動の結果使用した資金は2億83百万円となりました。

## 営業トピックス

## Topics

NEW

強風に備えて安心

## TS耐風セーブ

いつでも耐風、予想外の暴風にも頼りになります。

【TS耐風セーブ】は、追加部材の設置や追加の操作不要。

シャッターを開閉する日常の使い方だけで、常に高耐風圧性能を発揮するので、強風対策忘れの心配もなく、外出時の突風や台風時など想定以上の強風にも安心です。



フェーズフリー<sup>※</sup> 認証を取得しました。

<sup>※</sup>フェーズフリーとは日常と非常時という時間の屋根をなくしたこと

■ 脱防金具付きスラットが、常に強風に備えています。



強風によるガイドレールからのシャッターカーテンの抜け出しを防ぐ。

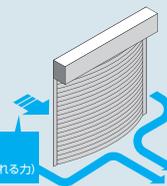
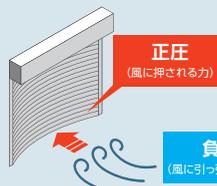


●脱防金具付きスラットを設置することで、常に高耐風圧性能を発揮します。

■ 優れた高耐風圧仕様で防災・減災効果を発揮します。

正圧、負圧と【800Pa】<sup>※</sup>の耐風圧性能。

<sup>※</sup>耐風圧性能 800Pa (高耐風圧仕様) は、試験機関での動耐風圧試験 (JIS A 1515) に基づく値です。



**NEW** TSベンチタイト

換気防音ドア

**換気と防音を両立!**  
扉を閉めるだけで3つの性能を発揮!

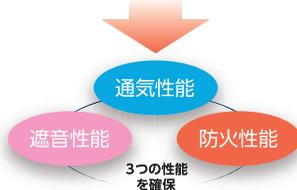
『TSベンチタイト』は、扉の内部に空気の通り道を作り、常時換気ができる状態で、遮音性能を確保した製品です。

設計範囲

|     | 最小幅×H         | 最大幅×H         |
|-----|---------------|---------------|
| 片開き | 750mm×1800mm  | 1100mm×2400mm |
| 両開き | 1175mm×1800mm | 2200mm×2400mm |

※両開き（両子開き）時の最小D/Wは420mmとなります。

さらに防火性能も確保



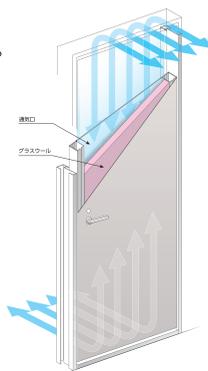
性能

- 遮音性能: T-2等級
- 防火性能: 特定防火設備 (告示1369号)  
※本製品は通気性能を持たせた商品であるため、遮煙対応不可となります。
- 通気性能: 片開き 43m<sup>3</sup>/h、両開き 76m<sup>3</sup>/h  
(換気ユニット【換気口部品】のBL基準である、10Pa【静圧】時に15m<sup>3</sup>/hをクリア)



フェーズフリー  
認証を取得しました。

- 遮音性能 (SAT仕様) が必要とされる、小スペースの休憩室や打合せ室、個室型ワークスペースなどリアル会議やWEB会議に使用される場所へ、防音及び防火に加えて常時換気が可能  
※給気口の役割を果たすため、排気設備は別途必要です。
- ガラリ等を設けていないため、一般的な防音ドアと同じ意匠性を確保
- レバーハンドルでの対応が可能



シュネルスピッツ  
**Schnell Spitz** by HÖRMANN

ウレタン充填パネルによる優れた断熱性、耐風圧性、静音性。

ウッドグレイン/トラフィックホワイト

■2層スチールパネル構造

パネルは内部に発砲ウレタンを充填した2層スチールパネル構造。  
断熱性、耐風圧性に優れるほか、開閉時の静音性にも効果を発揮。

ドア  
スタイル

パネルデザイン

パネル形状



意匠性と性能に優れた住宅用オーバードアが登場。最大開口幅6m・開口高さ3mまで対応

ヨーロッパのスタイリッシュなパネルデザインを3種類ラインナップ。

- マイクログレイン/パネル形状: Lリブ  
表面は滑らかにエンボス加工された波形を特徴とし、魅力的な光と影の効果を創出。  
(カラー: トラフィックホワイト)
- ウッドグレイン/パネル形状: Mリブ、Sパネル  
木目調のエンボス加工が特徴。  
(カラー: トラフィックホワイト、グレー、ホワイトアルミニウム、アンズラサイトグレー、ハーمانグレー)
- デコグレイン/パネル形状: Mリブ、Sパネル  
木目調のフィルム貼り銅板を使用し、木質調の高級感を演出。  
(表面仕上げ: ゴールドエンボス、ローズウッド)

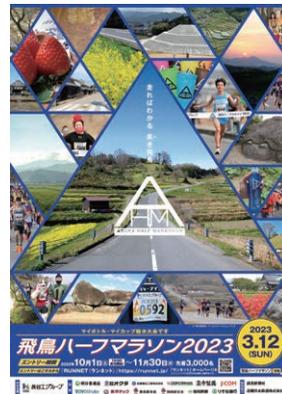
「飛鳥ハーフマラソン2023」協賛のお知らせ

当社は奈良県磯城郡に当社最大規模の生産工場を保有しており、従来から地元小中学校の工場見学等を通じて地域との交流や次世代を担う人材育成機会の創出を行っております。

このたび、「持続可能な社会づくりの一環として、ランナーが飛鳥を走れば走るほど景観が豊かになる、走って歴史的風土を守る仕組みを提案する」という開催の主旨に賛同し、昨年に引き続き、2023年3月12日(日)に開催される飛鳥ハーフマラソンにゴールドグレードとして協賛いたします。

大会の概要は下記のとおりです。

- 大会名称: 飛鳥ハーフマラソン2023
- 開催日時: 2023年3月12日(日) 9:00 ~
- 主催: 飛鳥ハーフマラソン実行委員会、明日香村、明日香村教育委員会
- 主管: 一般財団法人奈良陸上競技協会
- 種目: ハーフマラソン (21.0975km)



## 株式の状況 (2022年9月30日現在)

### (1) 発行済株式の総数

発行可能株式総数 17,748,000株

発行済株式の総数 6,387,123株

### (2) 当事業年度末の株主数

3,454名

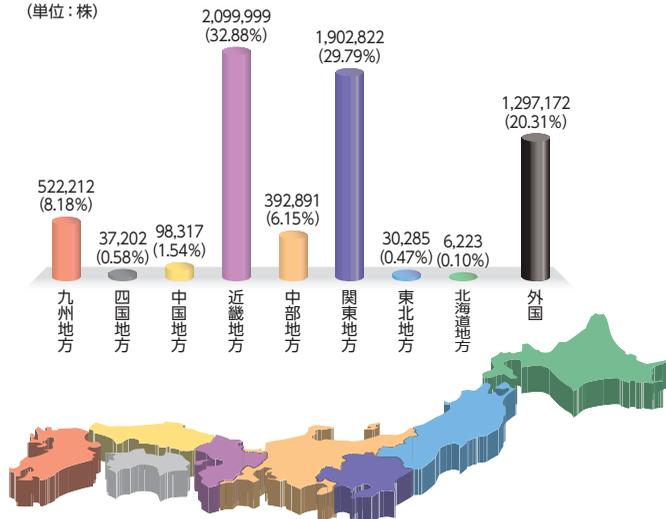
### (3) 上位10名の株主

| 株主名  | 持株数       | 持株比率   |
|--|-----------|--------|
| DEUTSCHE BANK AG FRANKFURT A/C<br>HOERMANN BETEILIGUNGS GMBH | 1,259,200 | 19.88% |
| 東洋シャッター取引先持株会  | 774,680   | 12.23% |
| 東洋シャッター従業員持株会  | 501,028   | 7.91%  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)                                     | 444,700   | 7.02%  |
| 下村正一   | 326,000   | 5.15%  |
| 株式会社みずほ銀行  | 313,374   | 4.95%  |
| 株式会社日本カस्टディ銀行 (信託口)   | 134,500   | 2.12%  |
| 愛知電機株式会社   | 125,444   | 1.98%  |
| 日本生命保険相互会社   | 119,207   | 1.88%  |
| 中央日本土地建物株式会社   | 114,159   | 1.80%  |

- (注) 1. 上記持株数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。  
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 186,000株  
株式会社日本カस्टディ銀行 90,500株
2. 上記、持株比率は自己株式 (52,110株) を控除して計算しております。
3. 当社として実質所有が確認できたDEUTSCHE BANK AG FRANKFURT A/C HOERMANN BETEILIGUNGS GMBHの持株数については合算 (名寄せ) して記載しておりますが、その他については、株主名簿の記載どおりに記載しております。

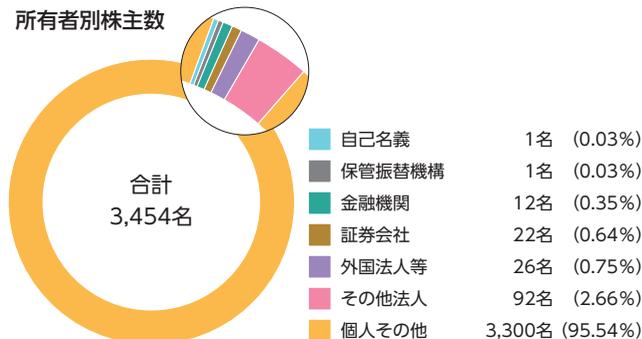
## 地域別分布状況 (2022年9月30日現在)

(単位:株)

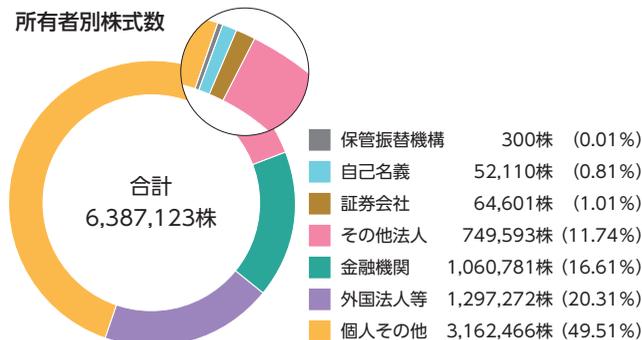


## 株式情報 (2022年9月30日現在)

### 所有者別株主数

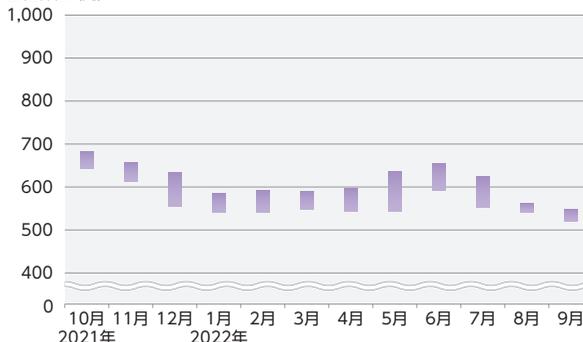


### 所有者別株式数



## 株価の推移

当社株価 (円)



# 会社の概要

## 役員 (2022年9月30日現在)

|                   |                            |
|-------------------|----------------------------|
| 代表取締役社長<br>執行役員社長 | 岡田敏夫                       |
| 代表取締役専務<br>専務執行役員 | 能村宏                        |
| 取締役常務執行役員         | 脇川和則<br>田畑勝志<br>村瀬厚司       |
| 取締役               | 堀井昌弘<br>マーチン・ハーマン<br>水野久美子 |

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 上席執行役員 | 花井直樹<br>楠本良治<br>松澤慎<br>野中真也  |
| 執行役員   | 西影憲介<br>奥野貴史<br>山下達也<br>山築清一 |
| 常勤監査役  | 南山芳毅<br>林修一                  |
| 監査役    | 嶋田薫<br>野中徹也                  |

(注) 1. 取締役堀井昌弘氏、マーチン・ハーマン氏及び水野久美子氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役嶋田 薫氏及び野中徹也氏は社外監査役であります。

## 会社情報 (2022年9月30日現在)

|            |   |
|------------|---|
| 設立         | 1955年9月10日  |
| 資本金        | 2,024,213,659円  |
| 従業員        | 556名  |
| 主要な事業内容    | 各種シャッター及びその他の建築用建具・建材の製造・取付及び販売<br>防災・防犯機器の製造・取付及び販売<br>建築用金物・船舶用金物・装飾金物・家具厨房機器の製造及び販売<br>建築物の設備機器・資材・什器設備・消耗品の仕入・販売及び輸出入に関する業務<br>各種電気輸送機及び電気装置用機械器具ならびに材料の販売・据付及び修理<br>上記の保守業務<br>不動産の売買・賃貸借・仲介及び管理<br>工業所有権・著作権等の無体財産権・ノウハウ・システムエンジニアリング・その他ソフトウェアの取得・貸与及び販売<br>上記に関連する業務        |
| 主要な営業所及び工場 | 本社 (大阪市)<br>東京本社 (東京都中央区)<br>支店 東京支店 (東京都中央区)、東京ビル建支店 (東京都中央区)、名古屋支店 (名古屋市)、京都支店 (京都市)、大阪支店 (大阪市)、大阪ビル建支店 (大阪市)、中四国支店 (広島市)、九州支店 (福岡県糟屋郡)、東日本メンテサービス支店 (東京都中央区)、関西メンテサービス支店 (大阪市)<br>営業所 全国主要都市50ヶ所<br>工場 つくば工場 (茨城県稲敷市)、奈良工場 (奈良県磯城郡)、九州工場 (鹿児島県始良市)<br>子会社 南東洋シャッター株式会社 (鹿児島県始良市) |

# 株主メモ

|         |  |
|---------|--|
| 事業年度    | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会  | 毎年6月開催   |
| 基準日     | 定時株主総会 毎年3月31日<br>期末配当金 毎年3月31日<br>中間配当金 毎年9月30日<br>そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号<br>みずほ信託銀行株式会社   |
| 同事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号<br>みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部                                       |

### 【株式に関する手続きのお申し出先】

- 証券会社に口座をお持ちの場合  
お取引の証券会社にお申し出ください。
- 特別口座の場合  
郵便物送付先 / 〒168-8507  
電話お問合わせ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行 証券代行部  
0120-288-324 (フリーダイヤル)  
お取扱店 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
- 〔ご注意〕
  - ・単元未満株式の買取請求以外の株式売買はできません。
  - ・電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は、至急上記電話お問合わせ先までご連絡ください。
- 未払配当金  
上記お取扱店ならびにみずほ銀行本店及び全国各支店
- 株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) について  
お問合わせ先  
・当社の保有株式口座を開設している証券会社  
・みずほ信託銀行 証券代行部  
0120-524-323 (フリーダイヤル)

上場取引所 東京証券取引所 スタンダード市場  
(証券コード5936)

公告方法 電子公告の方法により行います。  
但し、電子公告をすることができない事故その他のやむをえない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL < <http://www.toyo-shutter.co.jp> >



東洋シャッター株式会社

(本 社) 〒542-0081 大阪市中央区南船場 2-3-2 TEL 06 (4705) 2110  
(東京本社) 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 TEL 03 (3639) 0551  
(当社ホームページURL) <http://www.toyo-shutter.co.jp>



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に  
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが  
えにくいデザインの文字を採用しています。